

看護科 看護専攻科



■ 看護師への道

本校の看護科は東讃（さぬき市・東かがわ市・三木町・高松市東部）唯一の看護科で、これから必要とされる看護師の知識や技術を身につけて、高齢化社会に対応できる看護師を育成しています。入学から5年間の一貫教育が特徴で、他のルートと比べ最短期間で看護師資格を取得することができます。専攻科への入試がないことでじっくりと看護について勉強できる環境が整っています。

知識を身につける

看護の心を育てる

■ 実習で知識・技術・心構えを学ぶ

看護科では各学年において、まず校内実習を行い看護のスキルを身につけます。柔軟な発想と心を持ち、感受性豊かな早い時期から専門教育を受けることで、生命の尊さを肌で感じ取り、大切にしていくなかで看護の心を育てていきます。



小児看護実習（観察・授乳・着替え・沐浴）

（着替え）新生児の着替えを行います。

（沐浴）しっかりと支えて、やさしく洗います。

（観察・授乳）新生児の目を見つめながら授乳します。

最短(5年)で 看護師に!

専門科目
校内実習
臨地実習
(基礎看護)



看護科では一般教科の授業もしっかり行っています。また、部活動で活躍している生徒も多くいます。

専門科目
校内実習
臨地実習
(基礎看護・老看護)



学校内の実習室で、看護の基礎を学びます。様々な実習を行い、知識や技術、看護に対する心構えを養います。その後、県内の病院や保育所などで、臨地実習を行います。

戴帽式

専門科目
校内実習
臨地実習
(基礎看護・老看護・成人看護)



3年

専攻科進学(入試なし)

外部講師
専門科目
高度な校内実習
高度な臨地実習



1年

医師、薬剤師、臨床心理士、社会福祉士、臨床検査技師など、専門分野では外部講師による授業を行っています。より生きた専門知識を学び、総合的な力をつけます。

看護師国家試験へ



2年

3年+2年
5年で
看護師

看護師国家試験
受験資格

看護短期大学・専門学校 3年+3年で看護師

普通科(他校)は入試あり

看護大学 3年+4年で看護師



■ 充実のスタッフ

看護科教員は、その知識だけでなく病院での実務経験があります。医療現場を直に知る教員の指導により、実践力のある看護師を育成しています。



■ 新たに看護の道へ

2年生になると戴帽式があります。一人ひとりがナースキャップを受け、責任の重さと看護の意味を自覚し、新たに看護の道を進みます。



課程

- 5年課程（看護科3年）（看護専攻科2年）
- 定員40名／男女入学可

看護科・看護専攻科の学習

- 座学による看護知識の修得
- 看護実習室・在宅看護実習室で行う看護実習
- 外部講師による専門科目授業
- 校外で行う臨地実習

卒業後の進路

	年度	県内	県外
看護専攻科	H29	12	3
	H30	21	7
	R 1	22	3

得られる受験資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師学校受験資格
- 助産師学校（女子）受験資格



小児看護実習（観察・授乳・着替え・沐浴）
（バイタルサイン）新生児のバイタルサインの測定をします。



バイタルサイン測定（血圧）
水銀レスの血圧計を使用して正確な血圧を測定しています。



呼吸音聴取の実習
正確なバイタルサイン（体温・脈拍・呼吸・血圧・意識状態）を把握します。



創部の消毒
消毒液のついた滅菌綿棒で創部の消毒をしています。





■ 一般教科と部活動

看護科では一般教科の授業もおこなっており、学力をつけています。また、部活動で活躍している生徒も多く、充実した学校生活を送っています。



点滴の滴下数調整の実習

しっかりと見て点滴の速度を適切な速さになるように管理します。



2年 多田 愛花
(志度中学校出身)

先生方は、教科書に載っていないことでも、実際に必要になることは、丁寧に教えて下さいます。また、分からないことも、質問しやすいので、さらに興味を持って勉強できます。

看護科の時間割(2年生)

	月	火	水	木	金
1	基看	成看内	老看	薬理	コミⅡ
2	化基	現文B	看情	コミⅡ	校実
3	老看	薬理	看情	日史A	校実
4	コミⅡ	体育	コミⅡ	数Ⅰ	化基
5	体育	基看	LHR	成疾	現文B
6	日史A	老年	数Ⅰ	成疾	成看内
7			病理		病理

※コミⅡ…コミュニケーション英語Ⅱ

外部講師による授業



医師、薬剤師、臨床心理士、社会福祉士、臨床検査技師など、専門分野では多くの外部講師による授業を行っています。より生きた専門知識を学び、看護師資格取得に向けて総合的な力をつけます。

校外で行う臨地実習

実際に県内の病院や保育所などへ行き、臨地実習を行います。これは現場で患者さんや園児たちと向き合い、貴重な経験をつんで「患者さんの気持ちによりそって」行動することを学ぶためのものです。

車いすでの移送の実習(在宅実習室)

車いすの特性をよく理解し、患者さんの安全な移送を心がけています。